

真夏日が続く酷暑の毎日ですが、暦の上ではもうすぐ立秋です。先月は、七夕の集いや乳児組さんの保育参観、盆踊り大会が行われました。乳児組さんの保育参観では、短い時間ではごさいましたが、園で子どもたちがどのように過ごしているのか、お歌や、絵本の読み聞かせ、親子リトミックを通して、体験して頂きました。大好きなお父さん、お母さん、ご家族の方々に見守られ、子どもたちの笑顔を見ることが出来、保育士たちも貴重な時間を過ごすことが出来ました。お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございます。また、今年も昭和から続くやぐらを組み立て、盆踊り大会も開催することが出来ました。子どもたちの浴衣や甚平姿がとてもかわいらしく、やぐらを囲み元気に踊ったり、ゲームコーナーを楽しむ姿を見ることが出来、とても嬉しく思いました。保護者の皆様のご協力のお陰で真夏の大きな行事を無事終えることが出来ました。お忙しい中、ご参加頂きまして、ありがとうございます。さて、最近では、各クラス水遊びをメインの活動とし、製作や運動遊びも楽しんでいる子どもたち。年長、年中組さんのクラスからは、運動会に向けて、鼓笛隊のメロディーも聞こえてきています。今月は、以上児さん（もも組さんは体育教室の時のみ）の大型プールの活動も行います。遊ぶだけでなく、水難事故などの危険性や、対処の仕方なども伝えられればと思います。また、「顔がつけられるようになる」「ハタ足が出来るようになる」など、それぞれの子どもたちにあった目標を持ち、活動に取り組めるようにしていきたいと思えます。ご家庭でも、是非入浴時など練習をしてみてください。乳児組さんも先月同様ジョウロや、ハケツなどを使って水に触れ、保育士やお友だちと一緒に水遊びを楽しみたいと思えます。この季節は、疲れの出やすい時期なので、早寝をし、一日の疲れを次の日に残さないよう、気を付けていきましょう。



☆今月の目標☆

ふじ：夏の遊びに積極的に取り組み、健康に過ごす。
 さく：暑さに負けず、元気いっぱい遊ぶ。
 もも：暑さに負けず、元気に夏の遊びを楽しむ。
 乳児：夏を健康に過ごす。



生きる力



子どもの社会性の背景にあるのは、今注目されている「非認知能力」です。非認知能力はIQテストでは測れない、心の力。生きる力の基礎になるものです。

非認知能力って何？

生まれつきではなく、教育や遊び、毎日の生活を通して身につく力。0～3歳までの間に、大きく育ちます。

人とかわかる力

- ・ 社交性
- ・ 思いやり
- ・ 敬意

やり抜く力

- ・ 忍耐力
- ・ 自己抑制
- ・ 目標への情熱

感情をコントロールする力

- ・ 自尊心
- ・ 自信
- ・ 楽観性

《最近の年中組さんの姿》

年長組さんと一緒に、夏の大きな行事を終えたく組さん。最近益々お兄さん・お姉さんの意識が高まり、クラスの団結力も高まってきました。遊び方も英語教室で習った英語でジャンケンをしたり、クラスでしりとり遊びをすると、その後は、自分たちで一字ずつ語尾を確認し、お友だちと一緒に言葉を考えながら、しりとりを長く続けようとする姿が見られます。また、数字やひらがなにも興味を持ち始め、保育士が書いた文字を見て読んだり、活動の切り替えの時間を、時計を見ながら確認し、保育士に時間になったことを教えてくれたりしています。就寝前などご家庭でも、ひながなや数字に興味を持てるよう、絵本の読み聞かせをしていただくと嬉しく思います。また今月より大型プールでの活動も始まりますので、お家で洗面器などを使い、お顔を水につける練習を行なっていただければと思います。生活面では、矯正箸からお箸への移行を進めたいと思っておりますので、ご家庭でもお箸への移行をお願い致します。今月はお天気の良い日は、水遊びを大いに楽しみ、少しずつかけっこなど運動会の練習も取り入れていきたいと思えます。これから子どもたちの成長を楽しみに見守っていただきますようお願いいたします。



8月の行事予定

- 1日 体育教室
- 5日 身体測定
- 16日 報恩講
- 19日 体育教室
- 22日 避難訓練
- 25日 熊日童話会
- 26日 交通安全教室
- 28日 リトミック教室
- 29日 誕生会



原爆の日

第二次世界大戦末期の1945年8月6日、広島に世界で初めて原子爆弾が投下されました。続く9日には、長崎市も原爆の攻撃を受けています。そして15日、日本は無条件降伏し第二次世界大戦が終結しました。今月は「平和ってなんだろう」という問いを、子どもたちと一緒に考える月としたいと思います。ご家庭でも、是非、戦争体験をされた方のお話を聞かせていただいたり、おじいちゃん・おばあちゃんの幼少期のお話を聞かせてもらいましょう。



8月生まれのおもたち

- ☆佐藤あやみさん（年中）
- ☆平田かほさん（年中）

お休みの日の水遊びは、ここに注意！

○必ず大人が付き添う

子どもは転びやすいうえに、腕力が弱く自分で起き上がることが難しいです。水深が浅い水でも溺れる危険があるので、必ず大人がつき添い見守りましょう。

○気温や周辺の気象情報をチェック

暑い日は水遊び向きと考えがちですが、小さなプールでは水がすぐに温まってしまう。気温や暑さ指数をチェックして、暑すぎる日は注意しましょう。また川では、上流で降った雨やダムでの放流などで急に水かさが増えることがあります。海では、遠い台風や低気圧の影響で波が高くなる場合があります。周辺の気象情報をチェックしましょう。

○靴やライフジャケットを用意する

川や海で遊ぶときは、子ども用のライフジャケットを着せると安心です。また、川では石やガラスなどによる怪我を防ぐために、靴を履かせましょう。



7月の思い出

